

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-39	高等学校	国語	現代文A	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	現A308	現代文A 改訂版		

## 1. 編修の基本方針

- ・近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てることができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、近代から現代まで、さまざまな内容、ジャンルの教材をテーマのまとまりごとに幅広く、適切な分量で取り上げる。
- ・教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>I ことばと社会—随想・評論</b> <b>1 将来を考える</b> 「きっと叶いますよ」／どんな人になりたかったか？	・個人の価値を尊重して自主及び自立の精神を養い、他者と協調し合いながら社会の形成に参画することをねらいとし、自分の役割に誇りをもち、将来への希望をはぐくむ『きっと叶いますよ』、未来の自分に対する理想を抱いて生きる姿勢を培う「どんな人になりたかったか？」を収録した。(第2・3号)	pp. 7-20
<b>2 文化の理解</b> 和の思想、間の文化／実体の美と状況の美	・我が国の伝統的なものの見方、考え方を身につけるとともに、他国の文化に対しても理解を深めさせることをねらいとし、日本文化を「和」と「間」という視点から分析する「和の思想、間の文化」、日本と西欧の美意識を比較して論じる「実体の美と状況の美」を収録した。(第5号)	pp. 21-39
<b>3 自然を見つめる</b> ウサギの耳はなぜ長い？／人工の自然—科学技術時代の今を生きるために	・生命を尊び、自然や環境を大切にすることを養い、科学技術についての幅広い知識と教養を身につけることをねらいとし、動物の行動や生き物の関わり合いを考えさせる「ウサギの耳はなぜ長い？」、科学技術が発展した現代社会における教養のあり方を考えさせる「人工の自然—科学技術時代の今を生きるために」を収録した。(第1・4号)	pp.41-58
<b>4 ことばと文化</b> 排球、そして千利休／ものごとことば	・言語についての幅広い知識と教養を身につけるとともに、伝統や文化への理解を深めることをねらいとし、日本語の特徴や変化について理解を深めさせる「排球、そして千利休」、世界はことばをとおして認識されるものである、ということに気づかせる「ものごとことば」を収録した。(第1・5号)	pp.59-81
<b>5 社会で生きる</b> 幸せの分量／夢を建てる人々	・社会に対する興味を広げ、勤労を重んずる態度や主体的に社会の形成に参画する態度を養う教材として「幸せの分量」「夢を建てる人々」を収録した。(第2・3号)	pp. 83-98
<b>6 情報と私たち</b> 情報の力関係／●社会生活と文章／「考える葦」であり続ける	・さまざまな情報の中から真理を求め力を養うとともに、創造性を培うことをねらいとし、文字や図、記号などの情報の訴求力について考えさせる「情報の力関係」、社会生活の中で使われる実用的な文章の表現効果を再認識させる「社会生活と文章」、情報化社会の中で「考える」ことの重要性を説く『「考える葦」であり続ける』を収録した。(第1・2号)	pp. 99-116
<b>7 現代社会を考える</b> 家族化するペット／政治の基本は民主主義	・現代社会についての幅広い知識と教養を身につけるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとし、現代の家族のあり方を考えさせる「家族化するペット」、政治や民主主義についての理解を深めさせる「政治の基本は民主主義」を収録した。(第1・3号)	pp. 117-134

<p>Ⅱことばと文学—小説・詩歌</p> <p><b>1 小説を楽しむ</b></p> <p>ざしきわらし／青が消える (Losing Blue)</p>	<p>・幅広い教養を身につけるとともに、想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、現代作家の小説「ざしきわらし」「青が消える (Losing Blue)」を収録した。(第1号)</p>	<p>pp. 135-155</p>
<p><b>2 小説に親しむ</b></p> <p>山月記／その夜のコニャック</p>	<p>・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、生命を尊び、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとし、近代の名作「山月記」、戦争を題材とした小説「その夜のコニャック」を収録した。(第1・4・5号)</p>	<p>pp. 157-184</p>
<p><b>3 漱石・鷗外の世界</b></p> <p>こころ／高瀬舟</p>	<p>・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、近代の名作「こころ」「高瀬舟」を収録した。(第1・5号)</p>	<p>pp. 185-229</p>
<p><b>4 詩歌を味わう</b></p> <p>小諸なる古城のほり／落葉／ 小景異情／六月 短歌／俳句</p>	<p>・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、優れた詩・短歌・俳句を収録した。(第1・5号)</p>	<p>pp. 231-249</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- ・全体を「ことばと社会——随想・評論」・「ことばと文学——小説・詩歌」のⅡ部構成とし、文章の形態を意識して学習できるよう配慮した。
- ・単元のとびらに「単元のテーマ」「単元のねらい」「読書の窓」の項を設け、各単元に位置づけられた文章のまとまりを明確化するとともに、多様なテーマの本に関心を持ち、読書生活を豊かにし、生涯にわたって本に親しむ態度をはぐくむことができるよう配慮した。
- ・単元末4か所に、「言語文化の窓」を設け、我が国の言語文化について、自ら調べる学習をとおして理解を深めることができるよう配慮した。
- ・口絵に「情報の集め方」を設け、これからの社会生活で必要となる情報収集能力の基礎を身につけられるよう配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、担当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-39	高等学校	国語	現代文A	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	現A308	現代文A 改訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ●基本方針

- ・近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てることができるよう配慮した。

### ●構成

- ・文章の形態やテーマについて意識的に学習できるように配慮し、教材を、文章の形態によって、「Ⅰことばと社会——随想・評論」・「Ⅱことばと文学——小説・詩歌」という大きな2つのまとまりに分けた。さらにその中で、文章のテーマごとに教材をまとめて単元を構成した。

### ●教材選択にあたっての配慮

- ・教材は、現代の高校生が読むに値するテーマを追求した新鮮な作品や、評価の定まっている基本的な作品、我が国の言語文化への関心を深める作品などをバランスよく配置した。

### ●教材化の工夫

- ・教材化にあたっては、生徒の興味・関心、学習意欲を喚起する工夫を施すとともに、学習の参考となる写真や図版などを豊富に提示した。
- ・教材の末尾に、必要に応じて「表現」「課題探究」という項目を設け、総合的な言語能力を培うことができるよう配慮した。
- ・教材の末尾に「漢字レベルアップ」欄を設け、常用漢字の読み・書きに習熟できるよう配慮した。

### ●その他の工夫

- ・生涯を通じた読書生活の充実に配慮し、各単元のとびらに「読書の窓」を配置し、単元に収録した教材と同じ作者の他の作品や、同じテーマを扱った文章へと読書の幅を広げていけるよう工夫した。
- ・単元末4か所に「言語文化の窓」を設け、我が国の伝統的な言語文化について、自ら調べる学習をとおして理解を深められるよう配慮した。
- ・口絵に「情報の集め方」を設け、これからの社会生活で必要となる情報収集能力の基礎を身につけられるよう配慮した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容						該当箇所	配当 時数
	(1)指導事項				(2)言語活動例			
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ		
<b>I ことばと社会——随想・評論</b>								
「きつと叶いますよ」	○	○			○		○	pp. 8-12
どんな人になりたかったか？	○	○			○		○	pp. 13-20
和の思想、間の文化	○		○	○	○	○	○	pp. 22-29
実体の美と状況の美	○		○	○	○	○	○	pp. 30-39
◇言語文化の窓1 慣用句		○	○	○		○		p. 40
ウサギの耳はなぜ長い？	○			○	○		○	pp. 42-51
人工の自然——科学技術時代の今を生きるために	○			○	○		○	pp. 52-58
排球、そして千利休	○	○	○		○	○	○	pp. 60-68
ものごとことば	○	○	○		○	○	○	pp. 69-81
◇言語文化の窓2 和語・漢語・外来語		○	○	○		○		p. 82
幸せの分量	○	○			○		○	pp. 84-91
夢を建てる人々	○	○		○	○		○	pp. 92-98
情報の力関係	○	○	○	○	○		○	pp. 100-103
●社会生活と文章		○	○	○			○	p. 104-108
「考える葦」であり続ける	○	○			○		○	pp. 109-116
家族化するペット	○	○		○	○		○	pp. 118-125
政治の基本は民主主義	○			○	○		○	pp. 126-134
<b>II ことばと文学——小説・詩歌</b>								
ざしきわらし	○	○	○		○		○	pp. 136-144
青が消える (Losing Blue)	○	○	○		○	○	○	pp. 145-155
◇言語文化の窓3 色のイメージ		○	○	○		○	○	p. 156
山月記	○	○	○		○	○	○	pp. 158-176
その夜のコニヤック	○	○	○		○		○	pp. 177-184
こころ	○	○	○	○	○		○	pp. 186-213
高瀬舟	○	○	○	○	○		○	pp. 214-229
◇言語文化の窓4 敬語		○	○	○			○	p. 230
小諸なる古城のほとり	○	○	○	○	○		○	pp. 232-233
落葉	○	○	○	○	○	○	○	pp. 234-235
小景異情	○	○	○	○	○		○	pp. 236-237
六月	○	○	○	○	○		○	pp. 238-239
短歌	○	○	○	○	○		○	pp. 241-244
俳句	○	○	○	○	○		○	pp. 245-248